

高活協通信(2025年11月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

❖❖❖高活協ニュース❖❖❖

■高活協通信 11月号をお届けいたします

■タイミー、シニア世代のスポットワーク利用実態調査(2025年版)を実施 — 60歳以上の働き手は 2025年4月時点で約31万人、最高齢は90歳に

1. タイミー社のビジネスモデルと最近の動向

スキマ時間に働くというスポットワークを推進するタイミー社は、シニア世代のスポットワーク利用の実態調査を発表しましたが、関連で最近の同社の動向などに触れさせていただければと思います。

タイミー社には、高活協前理事長の岡本憲之さんとご一緒に、24年7月に汐留の本社へヒヤリングに訪問しました。同社の入る汐留シティセンタービルは、全日空グループも本社を置く高層ビルです。タイミー社は、創業者の小川嶺氏が、2017年に20歳で設立。小川社長は、まだ28歳の若さですが、タイミー社は、昨年東証グロース市場に上場しました。

タイミー社を昨年7月に訪問した時に感じたのは、「勢い」でした。毎月数十人のスタッフを新たに雇い入れているとかで、我々が訪問した時も多くの方が採用関連で来社されていました。対応してくれた方は厚生労働省を退官してタイミーに移ってこられた女性の方でした。

タイミー社は有料職業紹介業なので、人材派遣ではなく、人材紹介を行います。そして、求人を行う会社と求職者のマッチングは、働きたい時間を指定して、履歴書送付の必要もなく、すべて同社のアプリで完結。働いた時間だけのお金もすぐに支払われるという便利さが売り物で、就業開始に当たっての諸契約書もアプリからの配信で完結するということでした。DXがビジネスを支えているという印象でした。

また、仕事をすると、求人側の会社からはその応募者の実際の働きぶりで「バッジ」と呼ばれる評価が行われ、応募者の方は逆に会社の評価をするという、アメリカのUBERが導入している「運転手と乗客が相互の評価を行う(乗客は信頼できる運転手か評価する、運転手は、危ないあるいは支払いに問題のない客か評価する)」と似たようなやり方がとられています。これにより、応募者は別の会社で働く際にこの評価を利用してスキルのPRができるのと会社の方は勤務した人の評価により、働きやすい会社かどうかの判断

ができるということになります。

なかなかうまい仕組みが全体として導入されていると思いました。

我々の訪問後、タイミーを巡っては、闇バイト案件が紛れ込んでいるのではないかとか、タイミーが、派遣元事業者のように仕事をあっせんするとかというような利用者の誤解もあり、同社は規約の変更を行うなど対応に追われてきました。同社への累計登録ワーカー数は昨年 12 月には 1000 万人を突破。ライバルだったメルカリは今年内の撤退を発表しています。

2. スポットワーク利用実態調査(2025 年版)の概要

- (1) タイミー社のシニア世代(65 歳以上)の働き手は 25 年 4 月で約 11 万人。 前年同月比では約 2 倍となっている。勤務実績のある働き手最高齢は 90 歳。 タイミー社で働くシニア層の数は、前年比で倍増しているが、一方シルバー人材センターの全国の会員数は、「第2次会員 100 万人達成計画(平成 30 年度～令和6年度)」を実施しているが、コロナ禍以来、67 万人程度で徐々に減少している。タイミー社の「働き手にとって、働きやすい仕掛け」などにより、シルバー人材センターの会員数を上回る日がいざれ来るかもしれませんと感じる。
- (2)「タイミー利用以前は希望の職種に就けなかつたことがある」との回答者が約半数。履歴書や面接の段階で落とされてしまうという経験者が多い。
- (3)スキマ時間を使うスポットワークを選択する理由で多いのは、「自宅から近いところで働ける」、「空き時間を有効利用できる」、「柔軟な働き方ができる」、「適度に体を動かすことによる健康維持のため」などでした。
- (4)何歳ごろまでスポットワークをしたいかの問い合わせに対しては、「働けるうちはいつまでも」の回答が 40% を超え、内閣府高齢社会白書よりも 7% 近く高い結果となりました。
- (5)タイミー社の紹介で働いた前後の気持ちの変化の問い合わせに対しては「気分転換になった」、「人の役に立てることに喜びを感じた」、「自信が得られた」などの回答が多かったようです。
- (6)シニアワーカーの 4 割以上が事業者から長期就業の打診をされた、また実際に 11% の働き手は長期就業をしたと回答。タイミー社では事業者にスポットワーカーの働きぶりが気に入れば、追加コストなく長期就業にできることを売りにしているが、これを実際に経験ないしは打診されたシニアワーカーが多い。

(調査への考察)

(2)に関して、私(村関)の勤める高齢社にも同じような申し出を良く受けます。特に 70 歳をすぎると、履歴書も受け取ってもらえない、面接もさせてもらえないといったような内容です。「高齢社という名前だから、70 歳を超えるお仕事を紹介してくれるのですよね」とは応募者によく言われることで、ハローワークなどの取組も、シニアに対しては十分ではないということが応募者の感じるところのようタイミー社の取組は参考になります。

(3)のスキマ時間に働く理由で、「自宅から近くで」とか「柔軟な働き方」、「健康維持になる」などは、シニアの就労希望の中で特に上位に来ます。現役時代とは違う働き方、働く目的を提供することが必要です。

(5)の仕事をする喜びにある「人の役に立った」という気持ちは大変重要だと思います。仕事の内容、軽重は問わず、この年になんでも仕事をすることで役に立っているという実感を持つことは重要なことと言えます。

総じて、スキマ時間を使ったタミーの提供する仕事のやり方に、良くマッチングするのは、アルバイトで働く大学生などの若年層と、日中の時間を「持て余す」シニアということになるかもしれません。同社の紹介する仕事、働き先のニーズもこうしたシニアの働き方のニーズどうまく合えばまだまだタミー社の成長の余地は大きいと思いますし、我々高活協会員にとっても取組みに示唆を与えてくれるのではないかでしょうか。

◆◆◆11月のシニア就労関連イベントのご紹介

●シニア人材活用促進セミナー

「波を掴んで前に進む！中小企業のシニア活用戦略」／千葉県ジョブサポートセンター

千葉県ジョブサポートセンターは11月10日(月)、「シニア人材活用促進セミナー」をオンライン開催する。テーマは「波を掴んで前に進む！中小企業のシニア活用戦略」。心を掴む求人キーワード、面接のポイントやシニア人材の経験を活かし活躍へ導くマネジメントのコツについて成功事例を基に専門家が解説する。参加費無料。対象は県内企業の経営者及び人事労務担当者。定員は15名程度(事前予約制)。

<https://www.chiba-job.com/event/6527>

◆◆◆「高齢者就労関連サイト」紹介コーナー◆◆◆

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報は、下記のURLからご覧いただけます。

啓発誌「エルダー」|独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (jeed.go.jp)

<https://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

11月号では令和7年度高齢者活躍企業コンテストが特集されています。

また、その他の記事の中で面白いと思ったのは、「学び直しを科学する」の最終回 「ちょっとした工夫で脳が活性化する方法」という記事でした。 株式会社 脳の学校代表の加藤俊徳医師が以下のようなことを書かれています。

1. 脳の活性化のためには「自然の摂理に逆らわない」こと 自然の摂理とは、太陽の動きが、我々の血圧、覚醒の時間などの原点になっていて、それをコントロールしている。日中はしっかりと身体を動かし、夜はしっかりと睡眠時間を取りることが学びの基礎体力をつくるためにもっとも大切なこと
2. 「眠気を取る」「20分に1回は立ち上がる」 加藤医師ご自身が、60歳を超えてから3年ほどかけて、平均睡眠時間を6時間から8時間50分までのばしたとのことですが、そのために、①睡眠時無呼吸症を治療した ②睡眠の時間設定を明確にした ③睡眠前に電子機器に触らないようにした 等に加えて ④朝1時間ウォーキングを始めた。などに取り組んだようです。私自身も朝、出勤時に家から5km、1時間弱歩いて出勤しています。また座りっぱなしの人は20分に1回立ち上るように努めることも大事なようです。
3. 好奇心、興味を学びに活かす。日々の生活の中で自分の好奇心をくすぐるようなちょっとしたネタ、あるいは人物などを見つけると脳は非常に活性化すること。逆に自分が嫌だと思うことを見直してみると

も脳の活性化に効果があるようです。

4. 「いつものパターン」を外して見方を変える。 いつものパターンを変えて脳に刺激を与えるためには 20 歳以上年の離れた若い人たちの付き合いをしてみることも加藤医師は勧めています。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)
<http://www.agenomics.org/>

◆◆◆————◆◆◆

配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒101-0021 千代田区外神田 3-6-4 OSビル 5F 高齢社内 HP: <http://www.agenomics.org>